



ヨロモノオ ウミシハムカシ
 アメツチノ アホウビイマダ
 アメミヲヤ アテオムスビテ
 フクウツホ キワナクメグリ
 ウキトウヌ アウヌムスビテ
 アマツクリ ウヌアマシリテ
 ウハムスビ ウビオクニタマ
 カテムスビ ムネホエラミテ
 ヒトマロメ アカミヤニスエ
 シテムスビ ミナモトエラミ
 ツキノワト シラミヤニスエ
 ウヌノテノ ウツロキオムマ
 ウキノテノ シナドハクツハ
 ヒカリムチ オテニクニタマ
 ノリメグル オトハホオコホ
 ウビコニエ ニアガルヤマゾ
 ノテムスビ ノカゼニカワク
 クコハニニ ヒズメノアトハ
 ノラトミチ シノタマヤマニ
 シタタリガ ナガレウミナル
 カノミタマ コワニヨロコビ

万物を 生みしは昔
 天地の アホウビ 未だ
 天御祖 ア手を結びて
 吹く空 極なく巡り
 ウキとウヌ アウヌ結びて
 天創り ウヌア混りて
 ウハ結び ウビを地球
 カ手結び 宗火選みて
 日と丸め 赤宮に据え
 シ手結び 源選み
 月の輪と 白宮に据え
 ウヌの手の 雷神を馬
 ウキの手の 風神は轡
 光り鞭 オ手に地球
 乗り巡る 音はホオコホ
 ウビコ煮え 煮あがる山ぞ
 ノ手結び 野風に乾く
 黒肥地に 蹄の跡は
 野良と道 月の靈、山に
 したゝりが 流れ海なる
 日の御魂 肥地にヨロコビ



そこには天と地となる泡と泥の境目が
無い混沌だけがありました 宇宙創造神アメミヲヤが
ア手 を結ぶ（手印）と 虚空に回転が起って際限なく
回り拡がり出しました。



次に ウヰ ウヌ アウヌの手を結んで天を創造しました
ウヌアが交じったウハの手を 結んで地を形成し
泥をよく練って地球を造りました。



カ カの手を結び 陽の純粋なものを集めて丸め
赤宮に据えそれは太陽と呼ばれました。



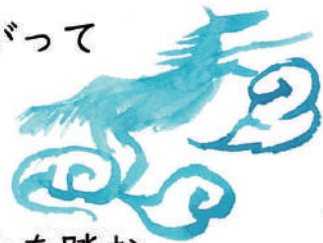
シの手を結び 陰の純粋なものを選んで
月の輪となし白宮に据え それは夜を知らせるのでした。



アメミヲヤはウヌの手を結んで 生むウツロヰ(雷神)を馬とし
ウヰの手を結んで生むシナト(風神)は 轡(くつわ)とし光を鞭と
してオの手に乗り巡って地球を調べながら走り回っていくのでした。



その音は "ホオコホ"と鳴り響きました
地上の岩石は煮えはじめ、 溶岩が煮上がって
山が出来上がりました。



そしてノの手を結び、野風に乾いた堅土を踏む
ウツロヰの蹄の跡は野良と道となりました。
月の氣の滴りが山に落ち 流れて海が出来ました。



太陽の御霊は肥えた土(肥地)にヨロコビを与えます。